

令和6年度 立川市立第三小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎よく考え実行する子 ○思いやりのある子 ○健康でたくましい子
---------	---------------------------------

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> ○自分や友達の考えとこれまでの学びを結び付けた深い学びの姿 ○地域の一員としての自覚と愛着 ○ICT活用能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制（高学年）による教員個々の専門性を生かした授業や校内研究の取組 ・全学年での「立川市民科」の取組 ・一人1台タブレットPCの活用

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉のもつよさを感じたり、触れたりする態度 ○課題に対して意見をもったり、まとめたり、広げたりするなど自分の考えを形成する力 ○友達の意見や考えを受け入れ、考える思考力や表現力 ○基礎的・基本的な知識を形成し、文や表現の中で使う力 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書や、図書館司書によるおすすめ図書の紹介や読み聞かせ ・「主張・根拠・理由付け」をセットとした学習の充実とノート指導の徹底 ・児童同士で伝え合う活動の設定 ・日常的な辞書の活用と、文を書いたり表現したりする学習
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象の特色や相互の関連、意味を考え、読み取る力 ○調べたことに対する自分の考えを表現する力 ○情報を読み取り、共通点や相違点を見付けることができる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活に関連付けて学習したり、具体物や具体的な資料等を用意したりして、自分の考えをもつことができる指導の工夫 ・児童が問いをもち、主体的に調べたり考えたりするための発問の工夫 ・資料の読み方をおさえたり、分かったことを比較・関連付け・統合して考えたりする学習の設定
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよく問題解決しようとしたり、学んだことを生活や学習に活用しようとしたりする態度 ○筋道を立てて考察したり、数学的な表現を用いて表現したりする力 ○基礎的・基本的な計算力と文章題の読解力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いの場や自分の考えを説明する時間の設定 ・言葉や数、式、図や表を用いた表現方法の指導 ・三小タイム（朝学習）を中心とした東京ベーシック・ドリルの取組の推進
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの自然や科学的事象に対する興味・関心 ○予想したり、考察したりしたことを、根拠をもとに書くことができる思考力や表現力 ○問題を見だし、日常生活と結び付ける力 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学資料やタブレットPCの活用による授業の導入の工夫 ・安全に実験・観察ができるように実験器具の名前や使い方の丁寧な指導 ・観察、実験結果を図や表を使ってまとめることに慣れ、結果からその意味や規則性を導き出すことのできるようにする指導 ・学んだことが日常生活にどのようにつながり、生かされているのかを考える学習指導
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○出来事や友達、身近な人への興味・関心 ○積極的に様々な人と交流したり、観察したりするなどの態度 ○予想や気付いたことを自分の生活経験と結び付ける思考力や表現力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことの中から「考えたこと・気付いたこと」を伝え合う活動の設定 ・社会および自然に対する児童の思い・願いを大切にしたい意欲的な活動の設定 ・見る・聞く・嗅ぐ・触るなどの諸感覚を使った表現方法の指導
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能 ○音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた学習、スモールステップ学習などにより、児童一人一人が主体的に学び、達成感を味わえる指導 ・自分とは異なる考え方や感じ方に触れ、自己の考えを確立できるように、言語活動と音によるコミュニケーションなどを用いた協働的な学びの場の設定
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心に活動するために必要な正しい道具の使い方 ○空想の絵や見たものを自分なりの方法で表す表現力 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい指示、ユニバーサルデザインなど配慮した環境整備 ・タブレットPCの積極的な活用による視覚的な導入 ・児童一人一人の想いや実態に寄り添った指導
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを基に、自分の生活でも生かしたり、自分の家庭生活によりよく取り入れたりする実践力 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活・家庭生活と結び付いた題材の工夫 ・製作や実習における見通しをもって取り組む活動の設定 ・タブレットPCを活用し、変化の様子を視覚的に捉え、振り返ることができるようにする指導
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な運動の特性や魅力に応じた知識や技能 ○友達と考えを交流し、判断したことを、言葉や動作等で他者に伝える力 ○運動に親しむ態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した知識の習得や、技能ポイントの確認 ・学習カードや動画資料等を活用し、作戦タイムや振り返りを取り入れたグループ学習の設定 ・場を工夫し、誰もが楽しく安心して取り組めるルールの設定
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて知識を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能 ○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ち等を伝え合うことができる基礎的な力 ○主体的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を軸とした単元構成 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などを明確化し、互いの気持ちや考えを伝え合う活動の設定 ・児童が興味・関心をもてる身近な題材とし、かつ体験的な活動の設定

